

雪氷写真館④ 結氷した河口湖の表面模様／
Surface pattern of freezing water at Lake Kawaguchi



写真 A.



写真 B.



写真 C.

山梨県・河口湖の水面に生まれた氷雪模様 (2002 年 2 月, 斎藤友覧撮影)



写真 D. 氷の結晶が芸術作品になった“結氷陶芸”(皆空窯 南 正剛作, 2005 年 9 月, 日本雪氷学会全国大会, 懇親会場にて, 樋口敬二撮影)

結氷した湖の表面模様と結氷陶芸

写真 C を「週刊朝日」2002 年 12 月 6 日号のカラー・グラビア「幻想の冬景色」で見た時, 実に美しく, それまで見たことの無かった現象なので, 本号掲載の「研究の道標」の中で紹介した. 写真 B は写真 C から数十メートル離れた所で, 写真 A には上端に僅かに湖の対岸が写っている.

このような現象の形成機構についても本号掲載の「研究の道標」を参照していただきたい.

写真 D は, 世界で初めて, 水の凍結という自然現象を作陶の過程に取り入れる手法によって生み出された作品であり, 表面に成長した氷の結晶がそのまま陶器の模様となっている.

南氏は, この手法で制作した作品「化-15℃」, ならびに「氷裂」によって中谷宇吉郎雪の科学館の「雪のデザイン賞」を受賞している. また, 北海道上川郡美瑛町白金にある南氏の皆空窯は, 倉本 聡脚本のドラマ「優しい時間」で主人公が働いた工房として実名で登場し, ロケ地となったことで知られている.

樋口敬二 会員 (名古屋大学名誉教授)